

「扁桃摘出後ステロイドパルス療法を行ったIgA腎症症例におけるステロイド糖尿病発症の危険因子に関する検討」へご協力をお願い

2006年4月1日から2013年12月31日までの期間中に14日以上入院したIgA腎症と診断された方へ。

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 研究科長 那須 保友
岡山大学病院 病院長 槇野 博史

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻病態機構学講座 腎・免疫・内分泌代謝内科学分野
准教授 佐田憲映

1. 研究の概要（研究の背景、目的及び意義）

当院では「ステロイド糖尿病発症に関する観察研究」を実施しております。この研究は新たにステロイド治療を開始された腎臓病、膠原病の患者さんでステロイド糖尿病を発症する危険因子を研究するために行われている研究です。ステロイド糖尿病を発症しやすい要因を明らかにすることで、今後の発症予測や予防に役立てることができます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2006年4月1日より2013年12月31日までの8年間に本院に入院された腎臓病、膠原病の患者さんのうち、扁桃摘出後初めてステロイドパルス療法を実施された患者さん。ただし、以前にステロイド治療を受けられていた患者さんや元々糖尿病と診断されていた患者さんは含まれません。

2) 研究期間

平成28年8月1日 ~ 平成29年7月30日

3) 研究方法

この研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報は削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学内の施設可能な場所（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科腎・免疫・内分泌代謝内科学）で保存内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施設可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたが希望される場合に行います。

あなたの同意により、ご家族等を交えてお知らせすることも出来ます。内容についてわかりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成28年10月30日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻病態機構学講座 腎・免疫・内分泌代謝内科学分野
准教授 佐田憲映

電話：086-235-7235（平日9時～17時）